



ミミカキグサ

ノハナショウブ

西部指定地

御池沼沢 植物カレンダー

東部指定地	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	クロミノニシゴリ	ミクリガヤ	ノギリ	ナカボノアカワレモコウ	ヤマラのキョウ	ノハナショウブ	ドウカイロモクセンゴケ	ヌマトラノオ	ホソバハシドウ	
西部指定地			ショウショウバカマ	ヘビムボラス		ノカンゾウ	サギソウ	サワシロギク	ホサキノミカキグサ	ミドリシジミ
	ヤチヤナギ(花)	トキシウ			モウセンゴケ		シラタマホシクサ			ヤブヤンマ
					コムラサキ(花)		ミズギボウシ	サワギキョウ		

国指定天然記念物 御池沼沢植物群落

御池沼沢植物群落は、300種以上の植物が生息し、四季折々に花を咲かせ、実をつけ、野鳥が羽を休める豊かな自然を残す場所です。東海地方固有の植物や、ミミカキグサなどの食虫植物が生育することなどの理由で、昭和27(1952)年に国の天然記念物に指定されました。天然記念物としての御池沼沢植物群落は、東部・西部の二つの指定地に分かれており、それぞれに暖地性のミクリガヤの北限、寒地性のヤチヤナギの南限としても、貴重な環境を有しています。



サギソウ

■ミクリガヤ

亜熱帯から暖地に生える暖地性植物で、御池沼沢が日本の北限とされています。多年性草木で、草丈は50~90cm、葉は幅5~8mm、栗のイガのような頭状花序が2~5個茎の上部の葉と茎の間につくのが特徴です。御池沼沢では、東部指定地東側観察路の周辺で見られます。

■ヤチヤナギ

北方の湿原に生える落葉小低木で、御池沼沢が天然記念物に指定された時には、日本の南限とされていました。低湿地に生えるヤナギということで、漢字で書くと「谷地柳」となります。葉は、レモンのような香りがします。御池沼沢では、西部指定地北側観察路、中央観察橋北側周辺で見られます。



御池沼沢植物群落の概要
所在地：西坂部町
指定種別：国指定天然記念物
指定日：昭和27年10月11日
追加指定：昭和51年3月31日(東部指定地)
昭和54年6月25日(西部指定地)



四日市自然保護推進委員会
会員 木村裕之さん

御池沼沢の特徴

御池沼沢では、他では見ることのできない貴重な動植物が存在しています。例えば、植物では、ミミカキグサ類はここでしか見られませんし、昆虫では、ミドリシジミやヤブヤンマなどが挙げられます。

環境を守るために

昔はいろいろところで湧水が見られたそうですが、現在の御池沼沢は湧水の減少により陸地化が進んでいます。地域との連携や環境保全ボランティアによる協力を得ながら、御池沼沢の環境を守っていく必要があると考えます。

御池沼沢植物群落を守る取り組み

本市では、貴重な自然環境を保全するとともに、希少な植物を見学できるような環境を整備するため、さまざまな取り組みをしています。

例えば、湿地に不足する湧水を補うため、地下水を供給する井戸を設置し、さらに給水がスムーズに行われるよう水路の浚渫を定期的実施しています。

また、植物の生育環境を保全するため、年間を通して市が募集した環境保全ボランティアとともに現地で活動しています。活動では、湿地内に侵入する外来種や樹木などを駆除し、湿地全体の植生が変わらないようにしたり、冬にはボランティアに加えて、地域住民・近隣教育機関の協力を得て、湿地の



一時的な観察路を設置

富栄養化が進まないよう、除草作業を行ったりしています。

一方で、植物への影響を小さくしながら多くの人に観察していただけるよう、踏み荒らさずに植物を近くで見るための一時的な観察路を設置したり、御池沼沢植物群落を知ってもらうため、自然観察会を実施したりしています。

御池沼沢植物群落が適切に保存・継承されるようにするとともに、観察などでより活用できるように、保存活用計画を策定し考えていきます。

最新情報や詳しい情報は、
「四日市の文化財」ホームページ



(HP <https://www.city.yokkaichi.mie.jp/kyouiku/bunkazai/monument/oikenumazawa/pg946.html>)
をご覧ください。

環境保全ボランティアの想い



シラタマホシクサ



ボランティア活動

ボランティアの人にきっかけなどをお尋ねしました

- ①参加したきっかけ ②今後の抱負 ③お薦めの植物と場所

① 広報よっかいち ② 在来種の小さな花が外来種にのみ込まれないように、少しでもお手伝いできればと思っています。自分の体をケアしながら一度でも多く現地に行きたいです
③ 私のイチオシはシラタマホシクサですね

① 30年近く前に、初めて見たシラタマホシクサに感激しました。広報よっかいちで募集を見て応募しました ② ずっと続けたいとは思いますが、自宅からは通いづらいので、あと少しかなと思います ③ 一つに絞れません。みんなそれぞれいいです

教育機関や地域とともに

御池沼沢植物群落を次世代へ伝えるための保全と活用を教育機関などとも連携して行っています。例えば、御池沼沢植物群落の隣に位置する大池中学校は、総合学習の一環として、同中学校区に存在する貴重な文化財を学習するとともに、地域資源を守り残していく活動として、地域の皆さんなどと連携して除草活動をしています。



大池中学校の取り組み

「ふるさと三重を愛する会」の活動

ふるさと三重を愛する会は、御池沼沢植物群落の除草などを地域の皆さんに協力してもらいながら、10年以上続けています。

私は子どもの頃、今の西部指定地でよく遊んでいましたが、それがいつの間にか、これまで育まれてきた環境が失われつつあります。地域に住む者として協力したいと思い、活動に参加しました。

地域の人々の中にも思い入れがある人が多いと思います。

できる限り協力したい、多くの人に知ってもらいたいと思います。



ふるさと三重を愛する会
会長 加藤裕久さん

自然観察会に参加して

これまでもいろいろな自然観察会に参加したことがありましたが、今回初めて御池沼沢に来ました。市内にこんなところがあったんですね。普段見ることのできない貴重な昆虫や植物を見ることができ、子どもも喜んでいました。自然観察会では、講師の先生にいろいろ教えてもらいながら見学できて、勉強になったし、楽しかったです。



観察会の時に見かけたトンボ



自然観察会に参加した
木下さん親子

御池沼沢植物群落を未来へ残すために

自由に散策できますが、貴重な環境を守るため、下記の注意事項を守ってください。また、西部指定地の入り口は鍵がかかっています。鍵の借り方など、詳しくは市ホームページ (HP ID 100100002533) でご確認ください。

- 沼沢に生息する植物や昆虫、小動物が一つの生態系をつくりあげ、自然環境を保っています。何気なく採取してしまう、その行為が環境破壊につながります。採取はしないでください
- 湿地内へ踏み入ると、土を踏み固め、生育している植物を傷つけてしまいます。また、靴などについている雑草の種や菌を持ち込んでしまうと、湿地に生息する動植物が脅かされてしまいます。決められた観察路を歩きましょう
- 沼沢内にはごみ箱はありません。ごみは持ち帰りましょう
※散策の時は、マムシ・ハチ・蚊、ウルシなどに気を付けてください

●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

社会教育・文化財課 ☎ 354-8238 FAX 354-8308